

新規就農するには？

ここでは、「農業を仕事にしたい」と思ったとき、どうすれば良いかをご紹介します。

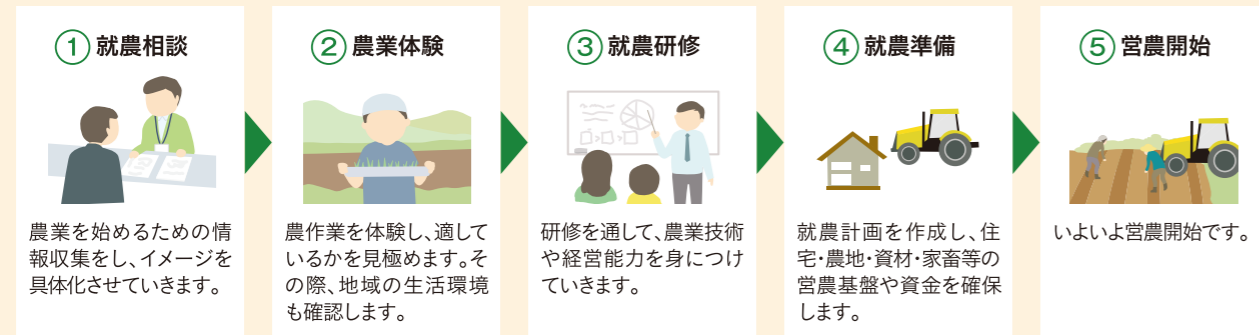
Q まず、何から始めればいいのか？

A 『北海道農業担い手育成センター』に相談しましょう。

北海道農業担い手育成センターでは、北海道内すべての「農業のまち」と連携して、就農相談を無料で行っています。「どんな農業がしたいのか、どの市町村が適切か」など、専門的就農コーディネーターが相談者の希望を伺い、イメージを具体化していきます。相談は、札幌会場での対面相談・メール・電話・オンライン（Zoom）で受け付けています。詳細は、このページ下部をご覧ください。

Q 就農まで、どんな風にすすむの？

A 大きく5つのステップがあります。一般的には就農まで数年を要します。



詳しくは



北海道農業担い手育成センター

住所 札幌市中央区北5条西6丁目1-23 北海道通信ビル6階
TEL 011-271-2255
JR札幌駅・地下鉄さっぽろ駅から徒歩約5分

就農相談について

平日
毎日開催。札幌の専用ブースとオンラインでのご相談があります。
札幌 オンライン

土曜日
月1回、札幌会場とオンラインで行っています。



電話相談
011-271-2255
平日10:00～16:00受付
※祝日・年末年始を除く

メール相談
右記のフォームから送信ください。



子どもが自由に遊べて、「おかえりなさい」が言える幸せ

2018年から2年間の農業研修期間を経て、2020年に市街地から15分ほどの距離にあった離農跡地で独立就農した。水田からの転作地で、土は比較的肥沃、農地のすぐそばには住宅もある。資金は、農業次世代人材投資資金の助成と借入金で賄った。

イトコーン、かぼちゃ、じゃがいも、枝豆なども手がける。章夫さんは、「サラリーマンじゃないから誰の目も気にせず、ストレスフリーな毎日です。万が一、栽培に失敗しても、そこには必ず理由があって、それをひたすら解決していく。農業は経営で自己表現できる仕事だと思います」と満足そうに語った。すべての退路を絶って、最



双子の姉妹も北海道暮らしを満喫。家の周辺には二人の“秘密基地”が多数ある



後の仕事として選んだ農業。「北海道に来て本当によかった」と噛み締めるように話す二人。「種から苗を育て、そして実がなる。こんなに毎年喜びを感じられる職業って、ほかにあると思いますか」。

取材が終わる頃、小学校から双子の姉妹が帰ってきた。北海道で暮らす前は、こんな風に子どもたちを家で迎えることはできなかった。

「おかえりなさい」この一言を、夫婦揃って言えることが、農業の魅力かもしれない。

農業をはじめるまで

2016年	子どもが2歳になるころ北海道への移住を考えはじめる。移住先として北海道の町村情報を収集
2018年 3月	北海道伊達市に移住 研修生として2年間農業を学ぶ
2020年	独立就農 徐々に出荷を始める

